

岐阜市史跡 黒野城跡とは

黒野城跡は黒野台地の南端に位置します。文禄3年(1594年)に加藤貞泰が美濃国黒野4万石に封じられた際に築城されました。その後、慶長15年(1610年)に、貞泰が伯耆国(今の鳥取県)米子6万石に転封され、廃城となりました。存続期間は16年でした。本丸跡の調査は昨年度(第1次調査)の北西隅櫓の痕跡を確認した調査がはじめてです。平成26年度(第2次調査)は、本丸入口部分に約20㎡の調査区を設定し発掘を行いました。

用語解説

虎口 ……城郭における出入り口のこと。
枡形虎口 ……戦国時代末期の西日本を中心に出現する。虎口の前面に方形の空間を設けて、門を二重に構えて敵の侵入を阻む構造となる。

年表

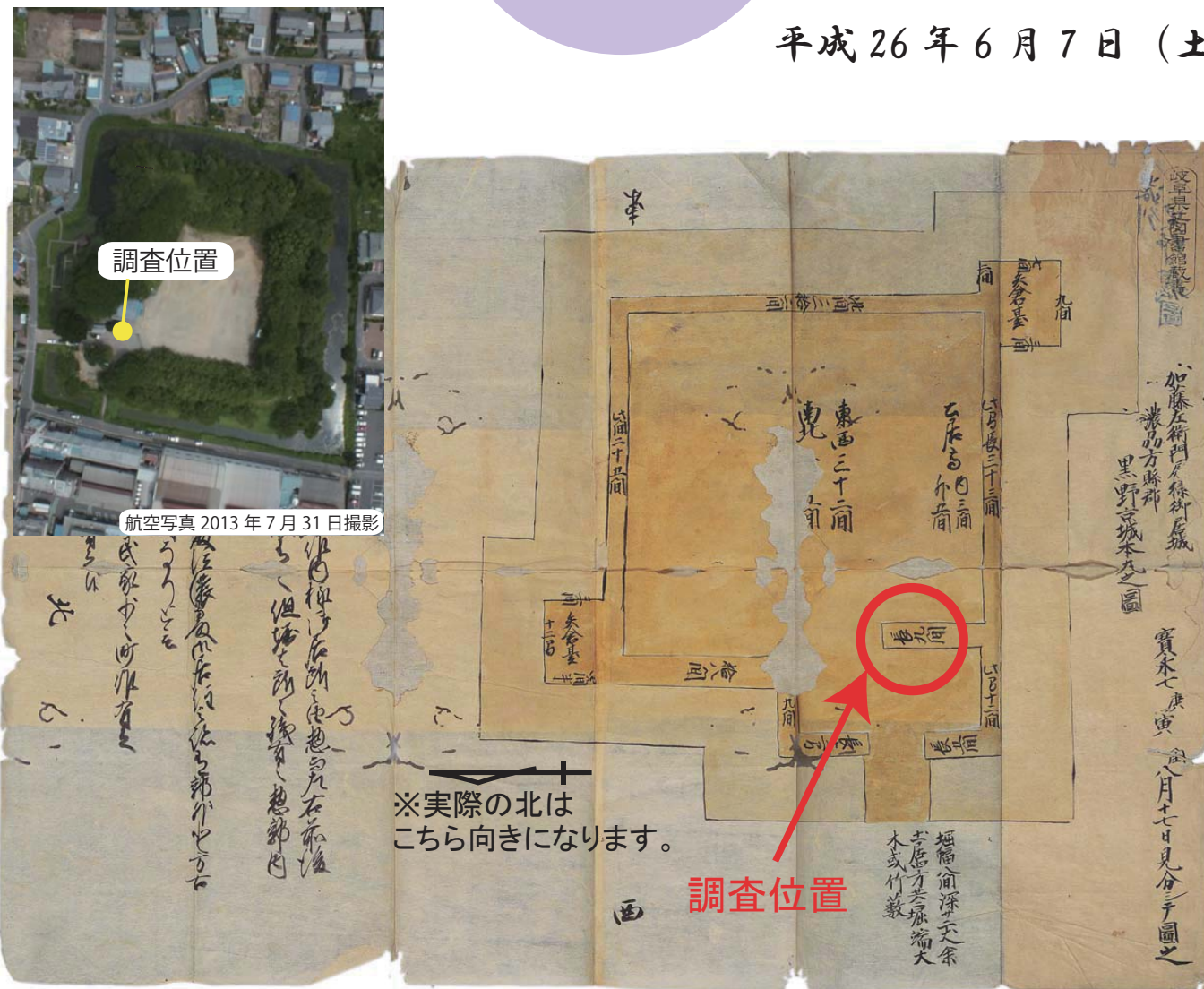
時代	年号	西暦	出来事	加藤氏
				齊藤氏に仕える
室町時代	天文 六	1537	秀吉(日吉丸)誕生	光泰誕生。加藤氏、多芸郡で郷士七十貫
	永禄 六	1563	信長、小牧山に築城	光泰、秀吉に仕え転戦
	十	1567	信長、龍興追放、稲葉山入城。井ノ口を岐阜と命名	
	元亀 三	1572	信長、浅井長政攻め	光泰、稲葉城攻めで秀吉家臣三百貫 光泰、浅井の横山城攻略軍功知行七百貫、十人与力
	天正 元	1573	信長、足利義昭追放	
織豊時代	天正 三	1575	秀吉長浜城入城。長篠合戦	光泰、安土城築城で街道の警備奉行
	四	1576	信長安土城に移る	貞泰誕生(近江磯野村) 光泰、三木城攻めで五千石 光泰、山崎合戦。周山城主一万七千石
	八	1580	織田秀信誕生(信長孫)	
	十	1582	武田氏滅亡。本能寺の変	光泰、丹波・近江・美濃・尾張の城主・在藩
	十一	1583	秀吉、大坂城築く	光泰、賤ヶ岳合戦、北庄攻め奉行
	十二	1584	秀吉と徳川、小牧・長久手の戦い	小牧・長久手合戦、犬山城在藩 江州高島城主二万石
	十三	1585	秀吉、関白就任	大垣城主四万石
	十五	1587	秀吉、九州平定	江州佐和山城主二万石
	十八	1590	小田原北条降伏、天下統一	北条攻め 岡崎、吉田、駿府城在藩
	十九	1591	岐阜城主に豊臣秀勝	光泰、甲斐国主
	文禄 元	1592	文禄の役(朝鮮出兵) 岐阜城主に織田秀信	光泰、甲府城主二十四万石
	二	1593	淀殿が捨(秀頼)出産	光泰、朝鮮に軍奉行出兵
	三	1594	伏見城完成、秀吉入城	光泰、朝鮮で戦死
	四	1595	関白豊臣秀次事件	貞泰、黒野に転封四万石
慶長	二	1597	慶長の役(朝鮮出兵)	黒野城と城郭ほぼ完成
	三	1598	秀吉、伏見城で死去	貞泰、黒野城に入城
	五	1600	上杉討伐・岐阜城落城、関ヶ原合戦	関ヶ原合戦、東軍に参加
江戸時代	慶長 六	1601	加納城に奥平信昌	加藤平内(貞泰弟)、濃州で三千六百石領す
	八	1603	徳川家康、江戸幕府開く	領地の治水事業・城下に楽市 伯耆国米子に転封六万石
	十	1605	徳川二代将軍に秀忠	
	十五	1610	大坂冬の陣	
	一九	1614	大坂夏の陣・豊臣滅亡	貞泰、米子藩主
	二十	1615	大坂夏の陣	貞泰、大洲藩主
	二	1616	家康死去	貞泰、伊予大洲へ転封六万石
	三	1617		貞泰、大洲藩主
	八	1622		貞泰、大洲藩主
九	1623	徳川三代将軍に家光	大洲藩	

〔黒野城のあった時代〕

岐阜市史跡 黒野城跡

平成26年度現地公開資料

平成26年6月7日(土)



「濃州方縣郡黒野古城本丸之図」と今回の調査位置
 <宝永7年(1710) 原本 岐阜県図書館蔵>

今回の発掘調査でわかったこと

- ① 黒野城で初めて石垣を確認しました。
 黒野城の入口部分に石垣が使用されていたことが明らかになりました。
- ② 絵図に描かれている黒野城枡形虎口の土塁西側ラインを確認しました。
 江戸時代の宝永七年(1710年)の絵図では、虎口の全長が「九間」(約16~17m)との記載がありました。実際の土塁は絵図よりも西側に位置することが判明しました。これまで、絵図や表面観察でしか分からなかった黒野城の構造について、発掘調査によりその一端を明らかにすることができました。
- ③ 黒野城築城時に大規模な造成工事を行っていることが判明しました
 調査によって約1mの盛土を行っていることが明らかとなりました。

発掘調査成果

◎入口部分に南北方向の土塁を確認しました。
土塁西側裾部には石垣を構築していました。

石垣の概要

- 規模
- ・検出長約 5.8m。
 - ・さらに南北に延びている。
 - ・最大2段（60 cm分）残存。
 - ・石垣はさらに高く積まれていたと推定。
- 石材
- ・砂岩（加工の痕跡が少なく自然石に近い）
 - ・最大のもので幅 73 cm × 奥行 62 cm × 高さ 40 cm（推定 200 kg）
- 構造
- ・石垣背面には裏込石として川原石を使用。
 - ・奥行約 1 m。

◎遺物

約 100 点出土しました。盛土の中からは黒野城跡と同時期に近い戦国時代の土師器皿や瀬戸美濃産陶器等が見つかりました。



写真1 柵形虎口石垣検出状況（南から）



写真2 柵形虎口石垣及び裏込め（西から）



写真3 柵形虎口石垣（最大のもの、西から）



写真4 柵形虎口石垣（西から）

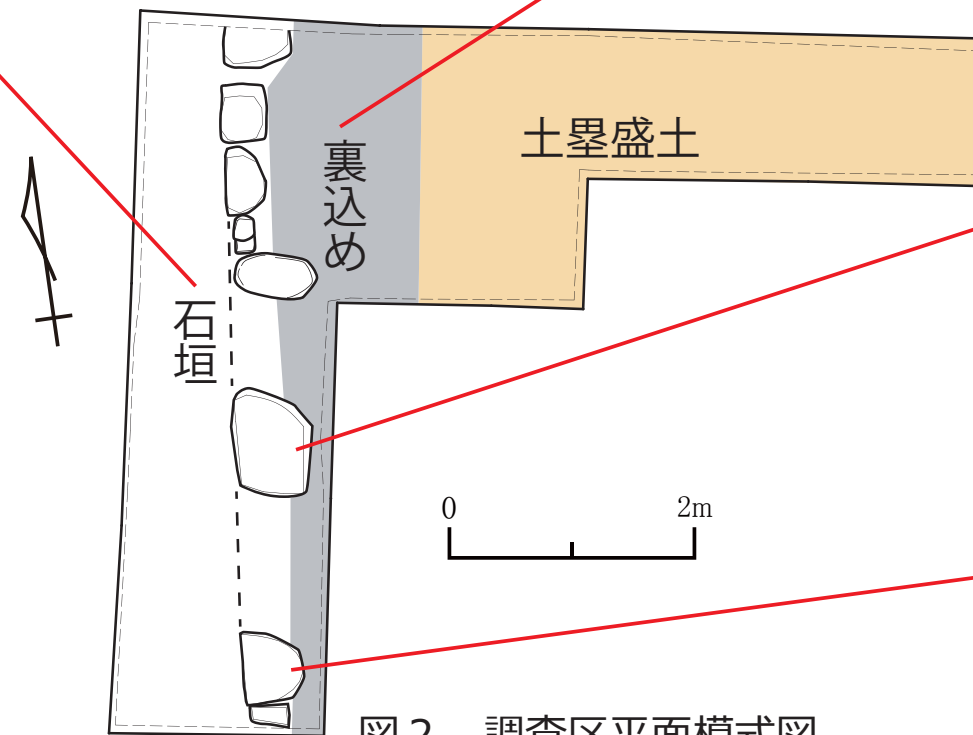


図2 調査区平面模式図

- ◎石垣と土塁の構築方法
- ①築城時の造成（50～60 cmの盛土）
 - ②石垣・土塁を構築
 - ③石垣の基底部前面に50～60 cmの盛土・整地を行い、根固めを行う。

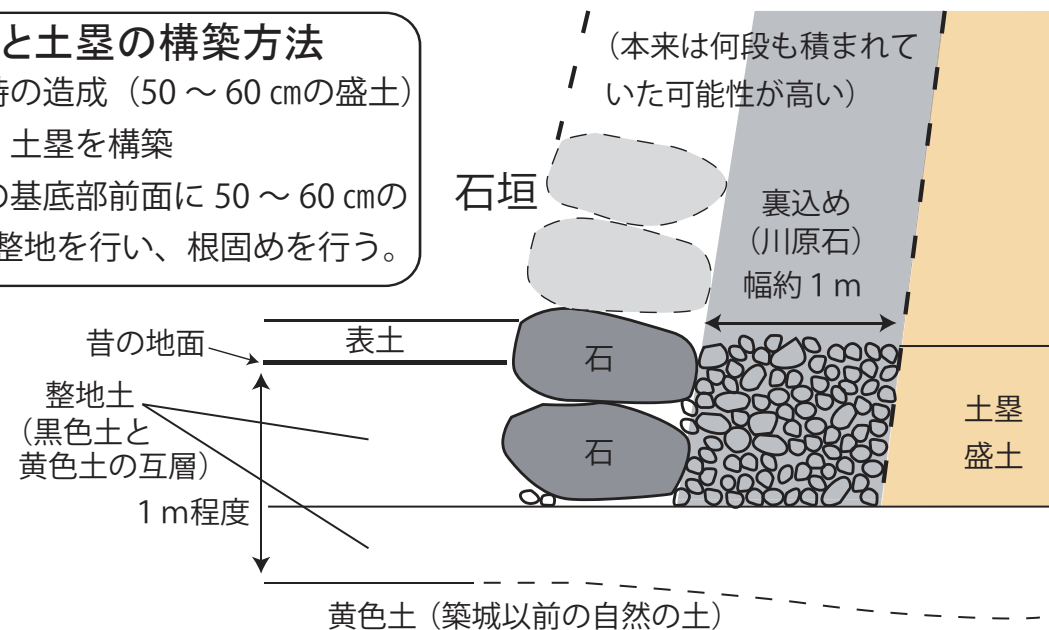


図3 土塁断面模式図

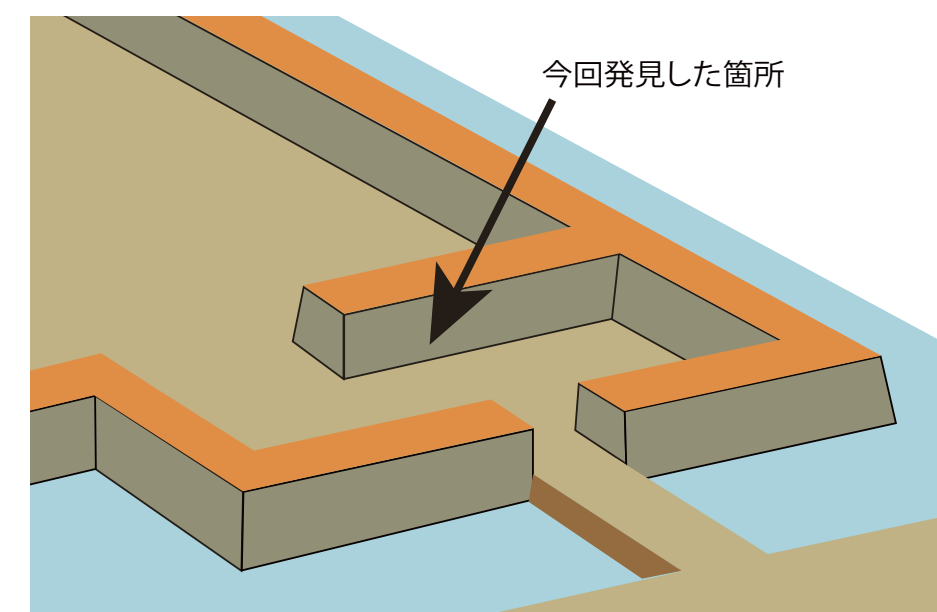


図4 虎口復元図

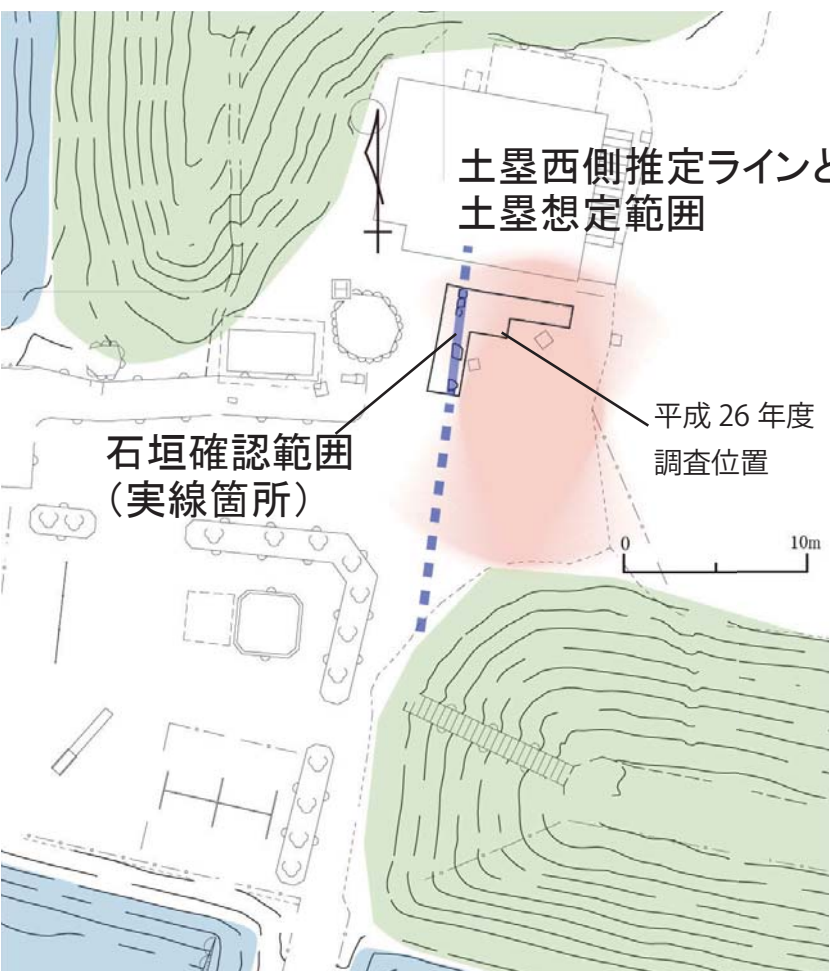


図1 調査の位置と土塁想定範囲